

# わがまち まごめ

馬込管内世帯人口数  
(令和7年10月1日時点)

- ・世帯数 32,530
- ・人口(男) 28,506
- ・人口(女) 29,616
- ・人口(計) 58,122

発行 地域力推進馬込地区委員会  
事務局 馬込特別出張所  
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5  
☎(3774)3301(代)  
ホームページアドレス(大田区役所大森地域)  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

## 資源とごみ、

## 私たちの分け方、出し方



今年からプラスチック分別回収も  
始まりました。馬込では相変わらず、  
ごみの散乱する集積所も見かけます。  
馬込のごみの収集と資源の回収を所  
管する大森清掃事務所で、お話を伺  
いました。

——どのようなごみの出し方が、収集  
するときに助かりますか？

きちんと分別されていて、袋の口元  
がしっかりと結んであると助かります。  
袋の結び目を上にして並べ、または積  
んであると収集が早くできます。

——やってほしくない、困る出し方  
は？

刃物が入っているごみ。串やつまよ  
うじでも、作業時に怪我をします。

袋の外から、中を確認しづらい出し  
方は困ります。リチウムイオン電池等  
の危険物で、注意表示のないものや、  
油、汚水、シュレッダーした紙類、  
ビーズなど、収集車に入れた時、袋に  
入っていても、破裂して飛び散り、作  
業員だけでなく通行人や近隣の家にも  
かかることがあります。これを集めて  
掃除するのが大変です。

袋の口の縛られていない、結び方の  
ゆるいものや、薄いポリ袋、雨天時の  
紙袋や段ボールなど、耐久性のないも  
の、空気が入っている袋などは破裂し  
たりで、中の物が散らばる要因となり

ます。空気を抜いて、口をしっかりと結  
んでください。

——集積所への出し方で、もう少し手  
をかけて出してほしいと思われること  
がありますか？

45Lの袋を使用してほしいです。収  
集する側としては、小さな袋をいくつ  
も出すのではなく、まとめてほしいの  
で。小さい袋は、口どうしを結ぶなど、  
まとめてあると助かります。

ただし、重い物の場合は小分けにし  
てください。袋が破けて中身が散ら  
ばったり、作業する側の腰や膝を痛め  
る原因になりますので。

カラスよけのネットを使っている時



は、中にしっかりと入れるようにして  
ください。

——集積所で収集・回収時に「いやだ  
な」と思うこと、また「うれしいな  
」と思うことを聞かせください。

カラス対策がなく、ごみが散乱して  
いるときは困ります。手で集めて回収  
しなくてはなりませんので。また、匂  
いがひどいものやウジのわいているも  
のなどが出されていると、まいます。  
うれしいことは、住民の方からのお礼  
の言葉、ねぎらいなどのお声かけです。  
大森北六丁目保育園の園児の方からは、  
お礼として、「ありがとう」の文字の  
入った手作りのカレンダーを毎年いた  
だいています。事務所内に大事に飾っ  
てあります。

——4月から「プラスチック分別回  
収」が始まりましたが、決まりは守ら  
れていますか？ 集積所の出し方など  
は？

実は、回収量が当初の見込みより下  
回っています。ごみの減量のため、ど  
うかが協力ください。

回収では可燃ごみとの混入があり、  
困っています。食品トレイや発泡スチ  
ロールが可燃ごみの日に出され、軽い  
ので風で散らばっているのを見受けま  
す。プラスチック回収日でも、風に飛  
ばない工夫をお願いします。

——集積所ではカラスよけのネット使  
用が一般的ですが、ネットを使用する  
以外の方法でうまく運営されている所  
がありましたら、教えてください。

集合住宅では、ボックスを設置して  
カラスなどから守っています。容器で  
出している所もあります。容器だと回

収に手間がかかるのではと聞かれます  
が、片付ける手間よりはずっとよいで  
す。清掃車にいつも積んである板で、  
散らばったごみを集めるのですが大変  
です。



——集積所でこうしてくれたらもっと  
収集・回収が楽なのにと感じることに、  
お気づきのことなど聞かせください。  
当日の朝、8時までに出してください。  
前日に出すと、動物等に荒らされ  
て散らばります。

大きな袋(45L)で、正しい分別を  
して、水分を切って、回収しやすいよ  
うに並べると楽です。

植木の枝などを束ねて出す時は、50  
センチ以内にした物を、葉が散らばら  
ないように包むなどして、女性が片手  
で持てるような大きさ・重さでお願い  
します。

資源・プラスチックは再生のために  
回収しています。スプレー缶も不燃ご  
みではなく、資源として集め、回収後  
の収集車での持ち込み場所も他と違っ  
ています。外から見てもわかりやすい  
ようにして出してください。

「大森清掃事務所の菱沼所長、伊豆藏  
係長、土谷統括技能長にお話を伺い、  
まとめました。お忙しい中をありがと  
うございました。」



## 第30回 馬込大盆踊り大会 馬三小の小学生が大活躍！



令和5年の第28回から会場が貝塚中学校に移り、大会の雰囲気も変わりましたが、7月26・27日開催の今回は更に変わったことがありました。開始が早まり、5時半までは小学生中心の大会になりました。

馬込第三小学校では5年生がクラスごとに班を作り、いろいろなアイデアを出し合い、実行委員会の大人と打ち合わせを重ねました。踊りは全校児童が踊れるよう、町会から先生を招いて一生懸命に練習しました。盆踊り大会のポスターを考え、制作し、町会掲示板に貼りました。大会当日は青パトに同乗して子どもたちの声で広報活動もしました。また、出店の販売の手伝い、スタンプラリーなどのイベントを行い、和太鼓は貝塚中学校のお兄さんお姉

さんといっしょに叩きました。おかげで会場は例年になく大いに盛り上がりました。所々に吊るされたペットボトル提灯もみんなで作りました。

これらの取り組みは区の独自教科「おおたの未来づくり」の学習の一環として午後4時から5時半までの時間を中心に行われました。

その後大会終了の午後7時までは小学生は任意参加ということになりましたが、校庭には例年にも増して子どもたちの歓声が響き、踊りの輪はより大きく三重く四重にもなるほどでした。天気にも恵まれ、こんなに楽しいことが二日も続きました。

来年も馬込第三小学校は、新5年生が新たな企画をたてて挑戦してくれると思います。今から楽しみです。



## 9月の大雨

馬込でも浸水被害があらちこで

### 観測史上最大の大雨に

関東地方でも線状降水帯が発生するかもしれないとの予報が出ていた9月11日、午後になって猛烈な雨が降りました。

気象庁によると、大田区で1時間に88.5ミリ、世田谷区で92ミリが観測されたとのことですが、レーダーによる解析では、場所によっては100ミリ以上の雨となったそうです。目黒区では134ミリが観測されました。

テレビ報道でも、品川区の立会川が氾濫する様子や、戸越銀座商店街の商店浸水の被害などが伝えられました。馬込の西側、お隣の上池台では、新幹線ガード近くの道々橋交差点から上池上通り商店街あたりが大人の腰の辺まで浸かるほどになり、東急ストアなどの商店や建物が、軒並み被害を受けました。

### 馬込も大変でした

当日は馬込でも、道路の冠水に伴い、浸水被害が続出。北馬込一丁目、中馬込二丁目、西馬込一丁目(ライフコミュニティ西馬込の地下駐輪場など)、東馬込一丁目、南馬込一丁目六丁目などで報告されています。

今までなかったほどの短時間での集中豪雨が、最近では日本国内のあちこちで起きています。「地球の温暖化」が危機として叫ばれる今、一回限りの現象ではないことを覚悟しておきましょう。

## 馬込情報

### ◎ 90敬老の日の報告

馬込特別出張所管内の88歳(米寿)および100歳の方に、大田区、大田区社会福祉協議会からお祝いがありました。88歳の方は男性74名、女性160名でした。100歳の方は男性2名、女性18名でした。なお、大田区最高齢111歳の方は雪谷地区でした。(令和7年8月15日現在)

### ◎ 龍子記念館

「名作展 源流へのまなざし モティーフで見る川端龍子」令和7年12月6日(土)～令和8年3月8日(日)

### ◎ 熊谷恒子記念館

「かなの美展 熊谷恒子と『万葉集』―晩年までの壮重な書」令和7年12月20日(土)～令和8年4月5日(日)

### ◎ 馬込図書館

「おやこ健康フェア」令和7年12月6日(土) 10時半～12時。薬と薬局について楽しく学べます。

「クリスマスおたのしみ会」12月20日(土) 赤ちゃん向け 10時半～11時、子ども向け 14時～15時。

郷土博物館出張講座「遺跡から見た馬込」12月21日(日) 13時半～15時半。

「新聞ちぎり絵づくり&認知症を知る(仮)」令和8年1月24日(土) 13時半～15時半。

いづれも参加無料、要申込。  
◎ 郷土博物館 TEL 3777・1070

● 「文化財写真パネル展」「装飾品展 mini」旅する古代ガラス」令和7年10月7日(火)～令和8年1月12日(月)

● 写真展「郷土を知ること、学ぶこと―宮川茂が写した大田―」  
特集展示「『蒐集家』宮川茂」  
特集展示「沿線案内で辿る四季の旅(仮)」  
1月20日(火)～3月15日(日)

## まごめ文芸



### 川柳

龍哲

老人のスマホデビューに孫が付き孫たちの笑顔がそろそろ年金日増えるのは歳に葉にしわの数石段を見上げてやめる奥の院猫フード味はどうかと聞くお客

## 編集後記

9月11日の大雨では、ちょうど子どもたちの下校時刻と重なり、学校内で子どもたちが雨の様子を見ながら待機することもあったようです。小降りになってからも、道路に水がたまった状態で、場所によっては小学生のくるぶしまで冠水していました。そんな中を元気に運動靴のまま、ぴちゃぴちゃと小走りに帰宅する小学生も見受けられました。保護者の方はびしょ濡れの靴や靴下など、あとか大変だったでしょう。今号は、大森清掃事務所にお邪魔して、資源やごみの出し方の注意点を話していただき、私たちの心すべきことを中心にまとめました。集積所でも、皆で協力して気持ちの良い集積所を保つために気をつけていきたいものです。